

5. 計画の進捗管理手法の検討

5.1 効果的な進捗管理の方法

計画の進捗管理にあたっては、着実な進捗管理を行うために、事業成果の検証を図るために検証組織を立ち上げて取り組みを行うことが想定される。

次頁に名護市と比較的立地条件等に共通性（通過型観光からの脱却が課題）があると考えられる市町村における計画の目標管理のKPI(重要目標達成指標)や進捗管理体制について整理した。

神奈川県鎌倉市においては、毎年度、KPIによる進捗管理を様々な主体横断で実施することとしており、このように各施策の「推進主体」が推進管理組織の委員として関与する形で、進捗を管理しながら取り組みを進めることが、取り組みの着実な推進や改善を図る上で有効だと考えられる。

一方で、名護市の観光まちづくりにおいては、景観づくりや、インフラの充実、人材確保といった部局横断の課題が、山積していると考えられ、各種観光施策を進めるにあたってはより一層行政内においても連携を強化して取り組みを進める必要があると考えられる。

以上より、行政機関を中心とした「(仮称)名護市観光振興推進本部」および、民間関連主体も含む「(仮称)観光振興懇話会」といった2つの会議体による進捗管理を行うことが望ましいと考える。

図表106 進捗管理体制の案

	参加者	開催頻度	実施内容
名護市観光振興推進本部	副市長を筆頭に各部の部長が委員として参加 (行政機関による会議)	年2回 (6月、3月)	アクションプランの各施策の進捗評価と、年に1回のアクションプランの改定を行う。
観光振興懇話会	計画策定懇話会と同等の構成員 (民間事業者を交えた会議)	年1回 (11月)	中心に主に民間事業者との意見交換を目的とする内容とする

参考資料：観光振興計画の目標と目標値

自治体	計画名	期間	目標	KPI	進行管理			計測頻度
					組織の有無	組織名	組織のメンバー	
鎌倉市	第3期鎌倉市観光基本計画	2016～2025年度	<p>目標Ⅰ：歴史、文化、自然、景観といった様々な遺産を保存・継承しつつ、知られざる鎌倉の魅力や価値を掘り起し、新たな観光資源として発展・向上させます。</p> <p>目標Ⅱ：成熟した観光都市としての鎌倉に市民が誇りや郷土愛を感じつつ、安心して穏やかに暮らせるまちをつくります。</p> <p>目標Ⅲ：誰もが安全で快適につつがなく鎌倉の観光を楽しめるように、観光客を受け入れます。</p> <p>目標Ⅳ：観光の振興を地域の活性化につなげます。</p>	<p>①宿泊客数：40万人</p> <p>②ホームページアクセス件数：500万件</p> <p>③滞在時間：初年度調査結果を踏まえて設定</p> <p>④平均立寄地点数：4.00地点</p> <p>⑤延べ観光客数：2,196万人（現状維持）</p> <p>⑥市民の満足度：調査方法を見直し、初年度調査結果を踏まえて設定</p> <p>⑦市民の理解度：調査方法を見直し、初年度調査結果を踏まえて設定</p> <p>⑧観光客の満足度：90%</p> <p>⑨校外学習の児童生徒の満足度：初年度調査結果を踏まえて設定</p> <p>⑩再来訪意向率：初年度調査結果を踏まえて設定</p> <p>⑪観光消費額：1,036億円</p> <p>⑫一人当たり観光消費額【宿泊客】：27,000円/人</p> <p>⑬一人当たり観光消費額【日帰り客】：7,726円/人</p> <p>⑭観光の担い手の満足度：初年度調査結果を踏まえて設定</p>	○	鎌倉市観光基本計画推進委員会	学識者、神奈川県、観光協会、商工会等	毎年度
伊勢市	伊勢市観光振興基本計画	2018～2021年度	<p>基本方針1：「神宮を中心とした物語性」の発掘</p> <p>基本方針2：産業視点での観光の推進</p> <p>基本方針3：ターゲット別PR戦略と検証可能な取り組み</p> <p>基本方針4：笑顔で迎える受入環境・受入基盤の整備</p> <p>基本方針5：「競争と協働」視点での連携の推進</p> <p>基本方針6：市民力の向上、人材育成及び活用推進</p>	<p>【入込客数】 神宮参拝者数、観光入込客数、観光案内所外国人案内件数</p> <p>【経済効果】 一人当たり観光消費額（推計）、外宮参道通行量</p> <p>【満足度】 観光客総合満足度、市民プライド（誇り）</p>	○	伊勢市観光振興基本計画推進委員会内に設置した検証部会	商工会、観光協会、旅館組合、神宮司庁等	時期を定め、繰り返し
奈良市	奈良市観光振興計画	2017～2021年度	<p>戦略の柱①：観光振興の方向付けを行う仕組みづくり</p> <p>戦略の柱②：顧客感動を創出する商品・プロモーション戦略の策定・実行</p> <p>戦略の柱③：市内観光産業事業所による地域経済循環の拡大と観光の産業化</p>	<p>・台湾人/韓国人の訪問者数：(台湾) 47.1万人(韓国) 24.8万人</p> <p>・欧米人の訪問者数：14.0万人</p> <p>・ターゲットとする世代(40代以上)の国内観光客数：828万人</p> <p>・奈良市内還元率：60%</p> <p>・(観光売上額の)労働生産性[観光産業事業所全体]：545万円/人</p> <p>・従業員休暇取得日数[観光産業事業所全体]：100日</p> <p>・観光売上額[観光産業事業所全体]：404.3億円</p>	○	(不明)	行政、公益社団法人、観光協会、事業者、関係団体、市民、市外の関係団体・民間事業者等	訪問数・観光客数：毎年 還元率～売上額：計画終了年度
浜松市	浜松市観光ビジョン	2018～2022年度	<p>観光が地域の持続的発展を支える主要産業に位置づけられ、多様な主体による観光地域づくりにより市民が愛着や誇りを持てる都市</p>	<p><KGI></p> <p>・旅行消費額：H30年度(2018年度)に収集後、現状を把握したうえで目標値を設定。</p> <p>・地域への愛着や誇り：H30年度(2018年度)に収集後、現状を把握したうえで目標値を設定。</p> <p><KPI></p> <p>・延べ宿泊者数：2,500,000人</p> <p>・来訪者満足度：90%</p> <p>・旅行消費額(1人あたり)：34,000円</p> <p>・リピーター率：75%</p> <p>・外国人延べ宿泊者数：390,000人</p> <p>・誘致会議における経済波及効果：100億円</p> <p>・市民の来訪推奨度：H30年度(2018年度)に収集後、現状を把握したうえで目標値を設定。</p>	(不明)	(不明)	(不明)	(不明)

自治体	計画名	期間	目標	KPI	進行管理			計測頻度	
					組織の有無	組織名	組織のメンバー		
県内	那覇市	那覇市観光基本計画	2015～2024年度	<ul style="list-style-type: none"> ①国際化に対応した那覇市の観光 ②沖縄県が持つ固有の歴史・資源・魅力を活かした那覇市の観光 ③資源、環境に優しい那覇市の観光 ④まちづくりと連携した那覇市の観光 ⑤リーディング産業に相応しい那覇市の観光 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光収入：4,500億円 ・観光客一人あたり市内消費額：90,000円 ・延べ市内宿泊客数：1,300万人泊 	○	那覇市観光審議会	行政、学識経験者、民間有識者等	(不明)
	南城市	第2次南城市観光振興計画	2018～2027年度	<p>目標1：市民が誇りや豊かさを実感する観光まちづくりを推進する</p> <p>目標2：南城市の持つ多様な資源を活用し、魅力の強化を図る</p> <p>目標3：南城市の魅力を発信し共感してもらう（＝好きになってもらう）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①市民の観光振興による経済効果の実感：50% ②市民の観光振興によるまちの活気の実感：75% ③市民が南城市を県外の人へ紹介したいか：H30年度以降に調査を実施し、指標を設定 ④域内調達率（宿泊施設の資材、お土産等）：H30年度以降に調査を実施し、指標を設定 ⑤来訪者滞在日数：2日 ⑥来訪者の訪問箇所数：4箇所 ⑦入込観光客数：3,200,000人 ⑧1人あたりの観光消費額（県外客）：20,000円 ⑨南城市観光ポータルサイト「らしいね南城」の年間PV数：283,000件 ⑩南城市Facebookフォロワー数：6,000人 ⑪人口社会増減率：転入超過を維持 	○	南城市観光振興委員会	行政、観光協会等	毎年度
	うるま市	第2次うるま市観光ビジョン	2017～2026年度	<p>基本方針1：うるま市の統一イメージ形成</p> <p>基本方針2：美しい観光まちづくりと観光機能の充実</p> <p>基本方針3：地域の魅力を活用した観光消費拡大の仕掛けづくり</p> <p>基本方針4：観光推進体制の構築とマーケティングの推進</p> <p>基本方針5：受入体制整備とおもてなしの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うるま市へのリピーター率（県外観光客）：70% ・沖縄県への来訪者がうるま市へ来訪する割合（県外観光客）：33% ・主要観光施設（あやはし館と勝連城跡）の入場者数：52万人 ・一人あたり市内観光消費額（県外観光客）： 土産・買物費：4,630円、飲食費：5,000円 ・うるま市内の宿泊日数（県外観光客）：1.0泊 ・うるま市観光の満足度（県外観光客）： 食事：91%、お土産：92% ・うるま市で食事をしている人、お土産を購入している人の割合： 食事：95%、お土産：88% 	○	うるま市観光まちづくり推進協議会		2021年度